



楽しみながら学ぶ  株式投資帝王学

## パリ銃撃テロは景気刺激策

白昼パリ市内で銃撃テロが起きました。パリの週刊誌「シャルリエブド」本社に覆面姿の何者かが押し入り銃を乱射し12人を殺害しました。この新聞はイスラム教の預言者ムハンマドを題材にした風刺画を掲載した事があり、犯人は「預言者（ムハンマド）のかたきを討った」と叫びながら乱射したそうです。

EUでは数十年前から移民の受け入れをしており、フランスはイスラム系移民がもっとも多い国で、テロリストになり得る素地を持った市民が多いのです。EU諸国では、ギリシャ危機以降南欧を中心に失業率が高まり、財政健全化の一環で公共サービスも削られ国民の感情は排他的になり、低所得者層の移民が攻撃対象になり、住みにくく、イスラム国へ行く人が多いようです。

昔から欧米諸国では不況になると戦争を起こして景気刺激策としてきました。

米国もソニーエンタテインメントピクチャーに対してのサイバーテロに対して金融制裁をして、北朝鮮を挑発しています。ならず者国家と呼ばれ核を持つと言われる北朝鮮がアジアに緊張感与えてきます。成長著しいアジア諸国は軍備を拡大せざる得なく欧米の軍需メーカーのシナリオ通りです。安倍政権も集団的自衛権で軍備を充実させる方向です。

フランス始めEUの軍需メーカーはテロ事件によって、財政も逼迫しているので軍備費は削られるのが普通ですが、このテロで予算の増額を勝ちえる事になります。イスラム国周

辺のサウジやイラク、シリアなど中東産油国も軍事にお金をかけるようになります。特需の発生でウハウハです。その証拠にパリで欧州首脳が反テロで結束し、各国首脳を先頭にデモ行進をしましたが、危険極まりないパリで堂々と首脳が行進するのでしょうか！！EUとイスラム国の茶番劇といえます。その先頭を歩いた首脳はフランスのオランド大統領、メルケル独首相、キャメロン英首相、レンツィ伊首相、ラホイ・スペイン首相達は、テロ事件の拡大を喜ぶ首脳が出そろった祝杯の、100万人デモ行進のように映ります。欧米諸国を敵にまわしたイスラム国も、戦闘準備で兵士増員が必要です。失業者のたまり場のイスラム国では、テロによって世界中で脅威が拡大するとイスラム国の兵士も仕事が増えます。欧州の景気刺激策です。

これからはEUの景気も底を打ち、中東産油国もイスラム国の台頭で欧米に頼る事が必要になり、欧米と産油国が手打ちになりOPECも結束し、原油相場も底打ちになると思われます。インフレ関連を買うとおもしろそうです。

日本を  
買おう。  
この記事を読んで、  
成功させよう！  
株式投資を



平成27年1月16日  
(株式講演家 三木文佑)

株式講演会の出張講演致します。  
少人数でも喜んで。  
090-5154-0515